



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

NBRの腎評価試験と透析試験

—目的に応じて様々な評価系をご提案します—

慢性腎臓病（CKD）は、腎臓の障害（蛋白尿など）、もしくは糸球体濾過率を指標とした腎機能の低下が3ヶ月以上持続する（慢性）病態と定義されています。CKDは末期腎不全（ESKD）への進行と同時に冠動脈石灰化などによって引き起こされる心臓血管病発症の重要なリスク因子として知られ、対策の重要性が認識されています。ESKDでは、腎代替療法として透析療法と腎移植があり、2011年に日本の慢性透析患者数は30万人を突破し、10年に10万人のペースで増加しています。

急性腎障害（AKI）は、48時間以内（急性）に腎機能が低下（血清クレアチニンや尿量）する病態と定義されています。AKIは集中治療室（ICU）で頻発し発症後の生存率は依然として低いことが知られています。また、CKDのリスク因子としてもAKIが注目されています。

CKD、AKIともに腎代替療法以外の特異的な治療方法はなく、急務な対策が必要とされています。当社では、CKD、AKIの臨床への外挿性を高めた各種動物モデルを提案しております。

(The Japanese Journal of Nephrology 参考)

慢性腎臓病(CKD)モデル

初期

原因から…… ①糖尿病（STZ誘発腎摘モデル、ラット）
②慢性糸球体腎炎（Thy-1腎炎モデル、ラット）

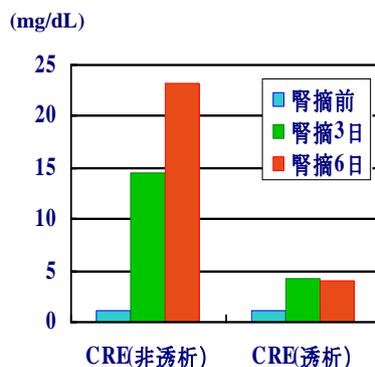
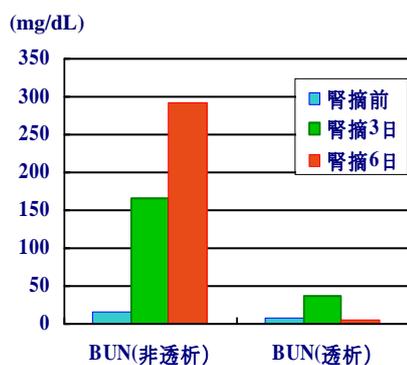
腎機能から… 5/6腎摘モデル（ラット）

末期

病期から…… アデニン誘発性モデル（ラット）
慢性透析モデル（ミニプタ）



ミニプタ両腎摘出モデルによる透析の影響

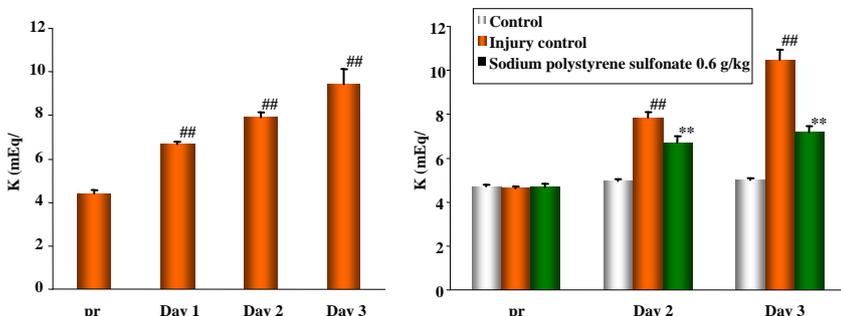


ミニプタにおける慢性透析試験の様子

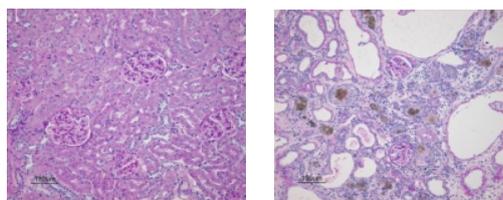
急性腎障害(AKI)モデル

虚血性急性腎不全モデル(マウス、ラット)
造影剤誘発性急性腎不全モデル(ラット)
両腎全摘出モデル(ラット、ミニプタ)など

ラット両腎摘出モデルのK変化



アデニン誘発モデルの腎臓病理像



Sham (8 w)

Control (8 w)

これらの試験系以外にも、他の腎機能評価試験を実施しています。是非、お問い合わせ下さい。

問合せ先 TEL 058(392)2431
(業務企画部直通)

学会発表のお知らせ

- ① 第56回日本腎臓学会学術総会(東京国際フォーラム) 2013年5月11日(土)
演者: 杉浦孝宏 演題: 3週間高アデニン低蛋白飼料摂取後の腎臓及び血管石灰化への影響
- ② 第56回日本糖尿病学会年次学術集会(ホテル日航熊本) 2013年5月18日(土)
演者: 保科ゆかり 演題: 非アルコール性脂肪性肝炎モデルラットに対するペザフィブラート、テルミサルタン、ピオグリタゾンの影響
- ③ 第55回日本老年医学会学術集会(大阪国際会議場) 2013年6月4日(火)~6日(木)
演者: 杉浦孝宏 演題: 慢性腎不全ラットモデルを用いた腎臓及び血管石灰化への影響
- ④ 第87回日本感染症学会学術講演会・(パシフィコ横浜) 2013年6月5日(水)・6日(木)
演者: 角田秀信 演題: モルモットを用いたヒトインフルエンザウイルス空気感染に対するクリスタルヴェール®マスク菌24の感染防御効果
演者: 佐久間隆介 演題: 実験的インフルエンザウイルス感染に対する献血由来静注人免疫グロブリン(IVIG)の*in vitro* 及び *in vivo* 感染防御効果
- ⑤ 第40回日本毒性学会学術年会(千葉幕張メッセ 国際会議場) 2013年6月17日(月)~19日(水)
7演題発表します。詳しくは、次回vivo 69号にてお知らせ致します。

佐部利 典彦のアートギャラリー(68)

岐阜県出身(1969~)

タイトル: LIFE



作者の言葉

これも中国で制作した作品です。明るい部分は毎日の私の生活から受けるイメージをきました。その上から中国で見つけた歴史の名残りをとにイメージしたかたちを型紙に起こして、それを切り抜き、かたちをつけました。型紙を使用するのは、日本の伝統的な方法を意識していることです。

サイズ: 90cm×150cm 技法: 油彩

『心の絆 - その68 - 』

5月は緑の鮮やかな、また花一杯の心地よい季節ですが、その一方で、新入社員や新入生が5月の連休明けごろから入社拒否や登校拒否になる、いわゆる「5月病」に陥る人が多い月でもあります。いずれも新しい環境の変化に適応できず、無気力、不安、焦りなどを感じ、勤務先や学校に向かう足が重くなり、職場や教室への道が次第に遠くなるようです。折角、厳しい就職活動や入試試験を経て得た立場ですから、私などは「もったいない」の気持ちや「何を甘えているのだ。しっかりしろ！」などと叱咤を掛けたい感情にもなりますが、こうした言葉は返って効果がないとも聞きます。地球は自分を中心に回っていません。自分の思い通りに行かない事は無数にあり、接する人、場面、環境に違和感やストレスを感じるのは当然なこと。ですから、私は、むしろ、このストレスを楽しむ気持ちになるべきだと思います。ストレスに勝とうなどと思わないで、ストレスを美味しく飲み込んでみようと言った調子です。そして、ストレスと感じているものは、これまでの自分の周辺から得られなかった有難いものと思ひ、自分のスキルを高められる好材料や機会と捉えるのも一つの考え方でしょう。ストレスは逃げては逃れきれないものですし、もし、一時的に逃げられたような気持ちになっても、また違った形で現れてきます。それだったら、待ち構えているストレスを真正面から楽しんでみようではありませんか。やがて、ストレスと思っていたことが、そう思わなくなっていくことを請ひます。「5月の薔薇」もより華麗に見えてきますよ。